

2008

2007年度コスモ石油エコカード基金活動報告書 第6期:2007年4月1日~2008年3月31日

【南太平洋諸国支援プロジェクト(ツバル)】

気候変動の影響を真っ先に受ける島国で 地球環境問題の適応策と緩和策を実践しています。



マングローブの苗を運ぶ中学生



稼働中の給水車

ツバルで生活する人たちは国外に移民しなくてはならないほど地球温暖化の被害に直面しており、国土の至る所でその被害を視認できます。

南太平洋のツバルは、9つの珊瑚島からなる島しょ国です。人口1万人ほどの人たちが、美しく透明な海を眺望できる島々に暮らしています。日本から見ると楽園のような国ですが、ツバルに暮らす人たちは国外に移住するなど地球温暖化の被害に直面しています。ツバルなど南太平洋島しょ国が直面している温暖化の被害は、温暖化それ自体を止めること以外に抜本的解決の手段がなく、コスモ石油エコカード基金は、温暖化の影響を少しでも軽減するための支援活動を展開してきました。2004年度にツバルで活動を開始し、2008年度で5年目になります。2004年度の現地調査後、マングローブの植樹や給水車の提供などの「適応策」を実施し、2008年度からは、ごみ処理に関するワークショップ開催などの「緩和策」を実践する予定です。地球環境問題、とりわけ温暖化問題は国際機関や一市民に至るまで国際社会が広く関心を共有し、ライフスタイルの変革や技術開発など広範な分野で一歩一歩地道な活動を進めることが必要不可欠です。

※島しょ国:大小様々な島から成る国

